

# 職場紹介

## 企業支援部（普及調整グループ、技術支援グループ）

企業支援部では、研究課題の企画調整や評価、研究成果の普及業務、広報業務、企業等への技術支援のための窓口業務、試験研究実施のための支援業務、特許や品種登録などの出願事務、視察・見学対応などを行っています。

### ■ 研究の企画調整と成果の普及

林産試験場では、企業ニーズ等の情報収集を行って、より実用的な研究テーマを設定・実施するとともに、蓄積してきた研究成果の効率的な普及に努めています。

#### ○ 研究の企画調整

研究は、道総研の予算で行うほか、企業等との共同研究や企業等からの受託研究、国や民間団体からの公募型研究などによる外部資金で行っています。

そして研究をスムーズに進めるため、例えば、部やグループの分野をまたぐ研究テーマの分担の調整や研究成果の評価、他の試験機関、行政などとの総合的な調整を行っています。

共同研究、受託研究等の要望があればご相談下さい。当场に対する研究要望は随時ホームページで募集しています。

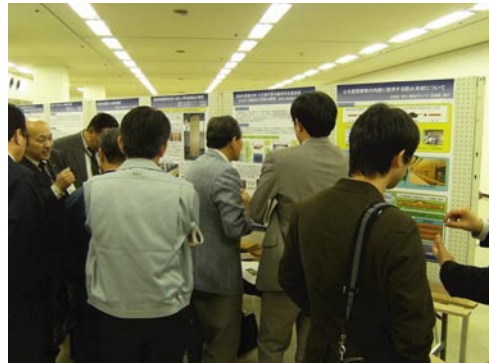
#### ○ 地域に根ざした研究・普及のサイクルづくり

行政と連携して技術交流会の開催や企業等への巡回調査を実施することで、開発した技術や製品を各地域で普及すると同時に、その地域の企業などのニ

ズを把握し、研究業務に結びつけています。

#### ○ 研究成果発表会

国の科学技術週間に合わせて毎年4月、森林資源の利用技術について広く情報交換する場として、全道各振興局の森林室や林務課、市町村、企業等からの発表を募り、「北海道森づくり研究成果発表会（木材利用部門）」を開催しています。この中で、林産試験場は、研究分野全般にわたって新たな研究成果の発表を行っています。



研究成果発表会 展示発表（平成23年，旭川）

#### ○ 展示施設

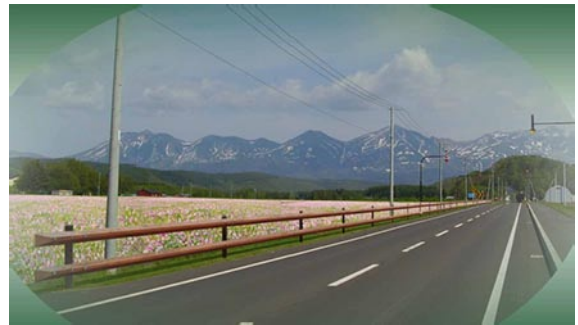
構内には、「木と暮らしの情報館」を設置しており、道内企業で製造・販売されている木製品・建材・建具・エクステリア・クラフト製品などを紹介しています。隣接するログハウス「木路歩来（コロポックル）」に



北海道型ペレットストーブ  
（株）サンポット



小断面わん曲集成材を使ったガレージ  
（株）日本ドアコーポレーション



耐雪型・B種木製防護柵ビスタガード  
（北海道産木材利用（協））

共同研究によって開発した製品の例（ ）は共同研究先

は、児童向けに木の玉プールやすべり台などの木製遊具を置いています。

また、情報館周辺には、道産木材製品を普及・PRするために製作した移動式木造展示物や、道産材利用の木製防護柵ビスタガードなども展示しています。



小路歩来「木の玉プール」

### ○ 出展、イベント開催

研究成果や木の良さなどの PR のため、道内外で行われる様々な展示会やイベントに積極的に参加しています。

場内では、木を利用することへの道民理解を深めてもらうこと、併せて地域に貢献することを目的に毎年「木のグランドフェア」を開催しています。この間、小中学校の夏休みに合わせて開催している「木になるフェスティバル」では、木に関する科学体験や木工工作などを通して、木の良さや科学のおもしろさを実感してもらっています。

また、木工工作を通して、木に触れ、木の良さやものづくりの面白さを体験してもらうため、小中学生を対象に「北海道子ども木工作品コンクール」を開催しています。



ビスタガード、準不燃タモ材などを出展  
(ものづくりテクノフェア2011, 札幌)



木になるフェスティバル  
「木のおもしろ実験 2011 木のあたたかみ」



第19回北海道子ども木工作品コンクール  
木工工作団体の部 知事賞「大鷲」

### ○ 広報

林産試験場が持つ技術・研究成果を刊行物、ホームページ等により公開しています。

#### <刊行物>

林産試験場の研究成果を発表する「林産試験場報」のほか、年度ごとの業務内容を「林産試験場年報」にまとめ発行しています。

また、「カラマツ活用ハンドブック」「木造建築のためのスパン表」など、テーマごとに取りまとめたマニュアル等を発行し、重点的な研究成果の普及に努めています。

#### <ホームページ>

ホームページに、広報誌「林産試だより」を毎月掲載しているほか、開発製品の紹介、特集記事、イベント情報等の提供を随時行っています。

各種刊行物やマニュアル等のダウンロードによる提供も行っており、マニュアル「木造建築のためのスパン表」は、平成18年の公開からダウンロード数が35万件を超えるロングセラーとなっています。

また、林産試験場報などの論文等 4,000 件余りを刊行物データベースとして提供しており、条件検索から全文が閲覧できます。

林産試験場ホームページの URL  
<http://www.fpri.hro.or.jp/>

## ■ 企業等への技術支援

林産試験場では、道内中小企業等の研究室という役割を担えるよう、依頼試験などの技術支援制度を設けており、専門の研究者が試験等に当たっています。

制度の利用方法はホームページ「技術支援制度のご案内」をご覧ください。

### ○ 依頼試験・分析・鑑定・設計

企業等（原則として道内に生産拠点をもち法人、市町村、団体など）に代わって試験や測定等を行う制度です。『自社で開発した製品の性能を知りたいが試験や測定設備を保有していない』と言うような時にご利用いただけます。

現在約 110 の試験項目を設けていますが、これ以外の項目でも当场で実施可能な試験であれば対応することも可能です。

これらの依頼には道総研の規程により手数料の負担が必要です。

### ○ 設備使用

企業等（原則として道内に生産拠点をもち法人、市町村、団体など）に、当场の保有設備を場内で使ってもらう制度です。『考案した製品について試作品を作りたい』『性能を測定したいが設備を保有していない』と言うような時にご利用下さい。

設備使用には道総研の規程により使用料の負担が必要です。

なお、研究・開発を支援する制度ですので、販売及び無償譲渡目的の製品・商品を製造するための使用はできません。

### ○ 技術指導

企業等（原則として道内に生産拠点をもち法人、市町村、団体など）からの依頼により、研究員等を工場や施工現場など希望の場所へ派遣して技術的な助言をしたり、講習会や講演会等へ講師を派遣したりする制度です。

これらの派遣には旅費の負担が必要です。

### ○ 技術研修

林産業界の活性化のためには、新製品や新技術の開発による企業競争力の強化が必要です。企業等（原則として道内に生産拠点をもち法人、市町村、団体など）からの要望により、基礎から応用まで、技術力アップのための研修を場内で行う制度です。

研修の内容や期間は企業等と相談のうえ定めます。

原則無料としていますが、交通費、滞在費は受講者の負担となります。

### ○ 技術相談

電話や E メールなどによる相談に無料で対応しています。簡単な内容については技術支援グループで直接回答し、より高度な質問の場合は、専門の研究者につないでいます。毎年 1,000 件程度の様々な相談が寄せられます。

## ■ 専門図書館

林産試験場には、林業・林産関係の図書館があります。調査や情報整理など研究用に配備した図書ですが、一般の方も閲覧（貸出不可）できます。

特に、木の性質や、木や森林と人間社会の関わりなどについては、やさしいものから専門学術書までそろっています。ホームページの「専門図書館」から蔵書検索ができます。

平日、午前 9 時から午後 5 時まで閲覧できます。担当者または総務課窓口にお申し出下さい。

## ■ 特許等の知的財産権

研究成果については、特許、意匠などの知的財産権として権利化を図っており、平成 24 年 3 月 31 日現在、特許権 11 件、意匠権 3 件、品種登録（育成者権）4 件を所有しています。ホームページに「知的財産権等一覧」として紹介しています。

(文責：石倉信介)